

提供年月日：令和6年（2024年）5月9日
所属名：滋賀県立美術館
担当者名：小松（広報担当）
連絡先：077-543-2113
E-mail：museum@pref.shiga.lg.jp

県立美術館で開催中のつくる冒険展の関連イベント

出展者の富塚純光さんによる公開制作を開催！

～富塚さんの公開制作は本展会期中 **1回限り**です！～

1 実施概要

(1) 実施日時

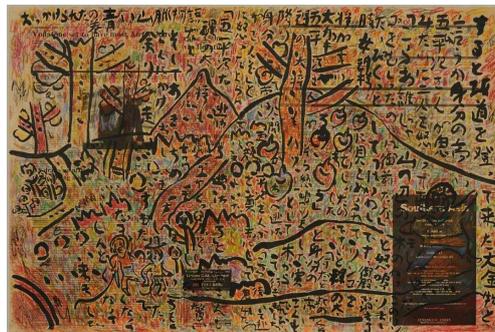
2024年5月11日（土）13時～14時

(2) 場所

滋賀県立美術館 ギャラリー

(3) 参加料

無料（自由に入退場可、事前申込不要）

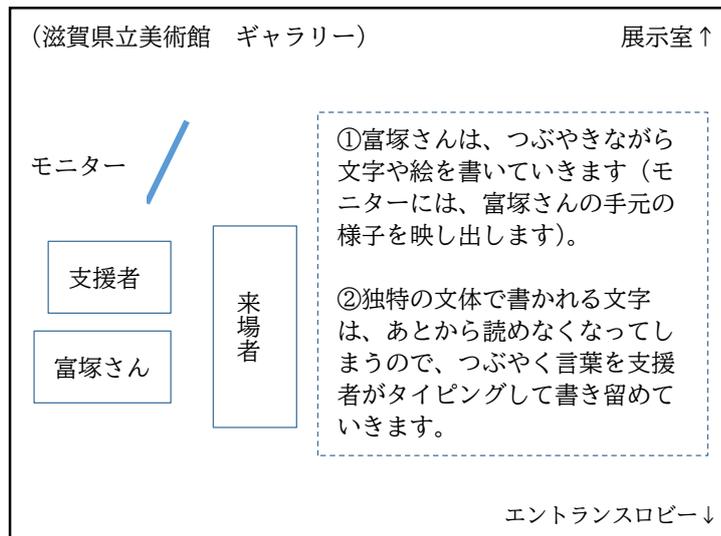


富塚純光《青い山脈物語 8 おっかけられたの巻》
2001年 滋賀県立美術館蔵
撮影：大西暢夫 写真提供：ポードレス・アートミュージアムNO-MA

2 内容

本展出展者の富塚純光（とみづか・よしみつ）さんによる公開制作「富塚純光の虚実混成絵物語」を開催します。事実と空想を織り交ぜた物語を絵と文字で紙面に紡いでいく、富塚さんの独特の制作を公開します。富塚さんから発せられ、紙面に溢れ出す言葉と絵、そしてそれを活字として留めていく支援者とのコンビネーションも見どころです。

<公開制作のイメージ>



<富塚さんのご紹介>

兵庫県生まれ。兵庫県西宮市の福祉施設「すずかけ作業所」（運営：社会福祉法人一羊会）に所属し、同施設の「すずかけ絵画クラブ」に参加して制作を行っています。彼の部屋には壁一面に彼の記憶が描かれたメモが貼ってあります。月1回の絵画クラブで、そのメモの中から1枚を選び、その内容をテーマに大きな紙に描いていきます。猛烈なスピードで描き進めるなかで、絵と文字は渾然一体となり、本人でも後で読めないほどになっていきます。